

SCHOOL DATA

〒270-1445 柏市岩井678-3
 TEL 04-7191-8121 FAX 04-7193-5504
 ■生徒数/442人 ■教職員数/43人 ■周辺環境/水田 畑 山林 (平成21年5月1日現在)



【裏山の湿地】



【田んぼの整備作業】

ビオトープの概要

- 場所/学校敷地内
- 面積/180㎡
- 設置者/学校
- 設置した年/2007年
- 直近の改修年/2009年
- 主な管理者/理科担当教員、科学部員、環境サイエンス学系生徒

【コンセプト】

- ・今現在の環境を生かし、土地の改変等は最小限にとどめる。
- ・本校生徒の学習の場とする。
- ・外部講師として、NPO団体や地域の施設の方を招き、交流を深める。それにより、より発展的な学習をするともに地域の環境保護リーダーの育成を目指す。

【生息している動物】

クワガタ、カブトムシ、オニヤンマ、ハグロトンボ、トウキョウダルマガエル、シュレーゲルアオガエル、サワガニなど



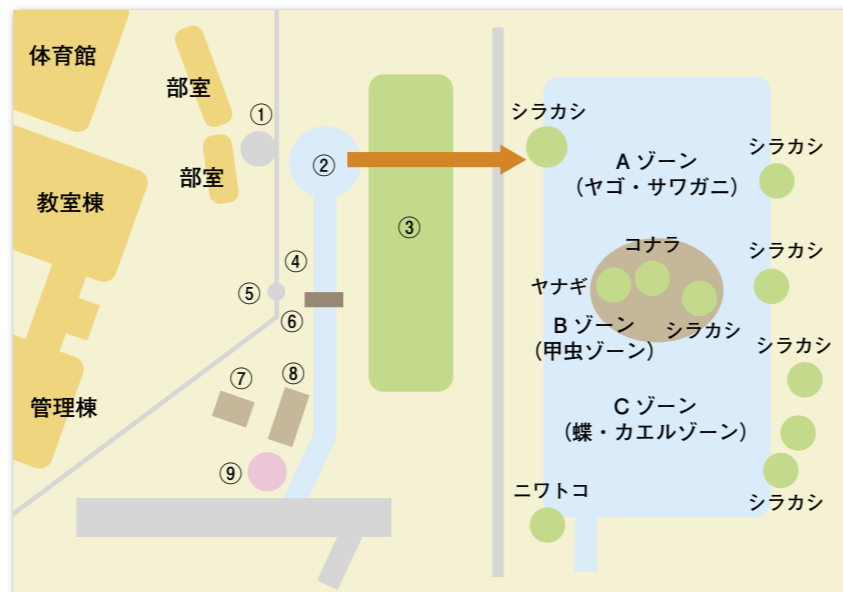
【生育している植物】

アシ、シラカシ、シロダモ、ヤナギ、ギンラン、コクランなど

【今後生息・

生育させたい生物】

ニホンアカガエル、ヘイケボタルなど



①雨水タンク ②湿地 ③裏山(照葉樹林) ④小川 ⑤入り口 ⑥橋 ⑦ホタル小屋 ⑧水田 ⑨粗朶積み



【観察会のようす】



【生徒による橋の製作】

ビオトープの活用方法

- 生徒
 - ・環境サイエンス学系の生徒を中心として、生物観察やビオトープ整備を行う。
- 地域住民
 - ・今後は、地域向けの観察会を実施していく予定。

ビオトープの効果

- 生徒への効果
 - ・自然の大切さを直接体験できる。
 - ・専門家を招聘して授業を進めることで、より発展的な学習ができる。
- 教職員への効果
 - ・外部団体との連携を深めることで、よりよい授業を作り出せる。
 - ・自己研修の場となる。
- 保護者・地域住民への効果
 - ・身近な場所で自然観察ができることで、自然の大切さを理解できる。
 - ・地域住民に、本校の教育を理解してもらえる。
- その他、期待される効果
 - ・地域の自然保護団体と連携をとることで、学校を核とした学びの場ができると思われる。

保護者、地域との連携

- 保護者
 - ・建設業の方から、木道や橋の作り方を教えてもらった。
- 自治会、町会
 - ・今後は、地域の方向けの野生物観察会を開きたい。
- NPO
 - ・職員研修の講師として指導してもらっている。
 - ・外部講師として授業に入ってもらっている。



整備・活用・管理等の課題

本校の場合、元からある裏山と湿地をビオトープとして開発している。よって、まず裏山と湿地に生息する生物の把握が必要であり、それにじっくりと時間をかけて取り組んでいる。また、予想外の生物が生息していたことから、開発の方針を変更することが数度あった。木道の整備等、どこまで開発を行うかのガイドラインを決めることが難しい。装備に特別な用意(長靴など)がなくても観察できることが必要か検討中である。

今後の展望

裏山と湿地を調査した結果、豊かな自然が残されていることが分かった。よって裏山と湿地そのものには手を加えない。新たな開発としては、空き地に水田を作り、そこに湿地からの湧き水を引き込んだ。おもに湿地周辺と水田の整備が中心となっているが、今後は裏山に観察道を作る予定である。

整備担当者(教員、児童、保護者等)から

ビオトープ整備を経験したことのある職員がおらず、全てが手探りであった。そのため、裏山と湿地の生物調査において知識不足の点があり、その都度外部講師の方に教えていただいた。これが非常にいい経験となった。生徒は動植物の知識が乏しく、今後のカリキュラム開発に工夫が必要である。ビオトープの場所が本校敷地と私有地の境にあり、境界を確定するのが難しく、法務局通いをするようになった。ビオトープの測量を行ったが、測量器具の使い方が難しく、メーカーの方に講習をしていただいた。



【橋の設置作業】